総領事館設立100周年レセプション

7月28日

中前総領事挨拶

在サンパウロ総領事館設立 100 周年および私の着任を記念するレセプションに皆様にご出席いただきまことに有難うございます。

在サンパウロ総領事館の業務が開始したのはちょうど百年前の今日、1915 年 7 月 28 日です。リオデジャネイロの大使館から職員が派遣され業務が開始されました。ブラジルへの日本人移住が始まったのが 1908 年ですから、その 7 年後にあたります。もちろん、当時は続々とサントス港に到着していた日本人の皆様の定着の支援、生活向上に向けた支援が大きな仕事でありました。その後、第二次世界大戦の勃発により 9 年間半閉鎖した時期もありましたが、お陰様で本年 100 周年を迎えることができました。

今日、当館は、サンパウロ、マットグロッソ、マットグロッソドスルの3州及びミナスジェライス州の一部三角ミナス地域を担当し、これら4州の州政府、市政府と協力しつつ、日本国民の皆様の滞在の支援、日系社会の皆様の諸活動支援、文化的交流、経済協力などを業務として行っています。

この機会に、各州政府、日系社会諸団体の皆様、企業の皆様から頂いた当館の活動に対するご協力やご支援に、館員一同を代表して心より御礼を申し上げます。

今日、これら4州で活動しブラジルの発展に貢献される日系人社会は120万人を数え、450社に上る日本企業が活躍し、世界最大の日系社会、また、南米最大の日本経済活動拠点として、我が国の対外政治・経済活動を支える重要拠点となるに至っています。

私は、この地における 34 番目の総領事として、さる 6 月に着任いたしました。今年は総領事館設立 100 周年であるとともに、日本とブラジルの友好通商航海条約が署名されてから 120 周年を記念する年であります。また、日本人移住が始まって以来 107 周年であります。私は、

この重要な年に総領事としての命を受けて職務に就いたことを誇りに思うとともに、長年にわたる皆様からの御恩と、先達が残した資産を拳拳服膺しつつ、全力をもって職務に専念する所存であります。皆様方の御支援、御協力をお願いいたします。

さて、当館が設立 100 周年を迎えるにあたり、これまで当地において日伯両国の親善友好関係強化や、日系社会の発展に尽くされた諸団体、および、本年の外交関係樹立 120 周年と総領事館設立 100 周年の各種事業に特にご協力いただいた諸団体に私からお礼を表明すべく表彰することになりました。その作業を進めるにあたり、本当に多くの皆様にお世話になっていることを痛感いたしました。結局、表彰の対象は百団体にのぼりました。もちろん、これらの団体のほかにも多くの方々の御恩を実感しております。今回は総領事館の百周年ということもあり、百の団体に絞らせていただきましたが、今後とも様々な機会に感謝の表明を行いたいと思います。表彰団体の詳細については入り口に紙を用意しておりますので、そちらをご参照ください。今回の受賞者の皆様方には 8 月 4 日に表彰式を開催する予定です。

さて、この機会に一つ私どもが頂いたプレゼントを御紹介したいとおもいます。それは日本とブラジルの友情をテーマとした曲です。ブラジルの人気歌手で日系人のフェルナンダ・タカイさんと日本の人気歌手、野宮真貴さんの二人が、日伯 120 周年と在サンパウロ総領事館開設100周年記念として、当館にこの曲をプレゼントして下さいました。5 ヶ月間の制作期間を経て先日完成しましたので、本日、この曲を初めて公開いたします。

この歌は、私共サンパウロ総領事館に務める者にとって何よりの贈り物です。日伯の友情を体現する作品として、今後ともさまざまな場面で活用させていただき、皆様にも親しんで頂きたいと思っています。

当地政府関係者の皆様、日系社会の皆様、経済、文化、報道他諸方面の関係者の皆様、日本とブラジルの企業関係者の皆様、その他皆々様のますますの御清祥、日本とブラジルの一層の友好関係の進展と両国の平和と繁栄をお祈りして私の御挨拶とさせていただきます。